在宅勤務だからこそ積極的な「雑談」を

新型コロナウイルスの拡大によって、在宅勤務を行う方々が増えてきました。在宅勤務で顔をあわせる頻度が少なくなり、なんとなく仕事のやりづらさを感じているのではないでしょうか。
それは、普段当たり前のようにしていた**「雑談」**がなくなったからもしれません。

「雑談」の大切さ

在宅勤務での仕事のコミュニケーションについて振り返ってみましょう。チェックがつかない人は、閉鎖的になっているかもしれません。

- ☑ 上司や同僚と、オフィスで仕事をしている時と同じくらいコミュニケーションは取れていますか
- ☑ 必要なとき、会社の人にすぐに仕事の相談ができていますか
- ☑ 会社や自分の所属している組織、同僚との一体感は感じていますか

「雑談」は、顔の見えない在宅勤務の中で、**信頼関係の構築**や**孤独感の緩和、一体感の醸成**に重要な役割を持っています。

積極的な「雑談」のコツ

1. チャットツールを利用する

- ✓ メールよりも気軽に発信でき、タイムリーに反応できる点で、**通常の会話に近いテンポでコミュニケーションが可能**です
- ✓ 最近は**無料のチャットツール**も増えていますので、ネットで検索してみてください

※セキュリティ関連は社内確認を忘れずに

2. 仕事以外の話題やちょっとした近況報告、挨拶をやり取りしてみる

（例）
・今日の昼は自炊してみました！と写真を共有
・出勤時は「おはようございます」退勤時は「お疲れ様でした」とチャットする
・MTGの最初3分くらいをアイスブレイクで雑談を入れてみる

3. ポジティブな言葉・褒める言葉でレスポンス

（例）
・自炊素晴らしいです！美味しそうですね！
・挨拶には挨拶を！
・いいね!ボタンや簡単なスタンプで反応だけ返してもok！
・ちょっとした事でも「ありがとう」

在宅勤務の時は表情が見えないので、しっかり言葉でコミュニケーションしていきましょう
（もちろん、オンオフ忘れずに！）

※情報セキュリティの観点から社外のツールでの業務連絡はしない
※必要以上にプライベートを詮索しない
等ルールをあらかじめ決めておきましょう

© 2020 Human Frontier Inc.